



Photo Selector - 写真 自動選定ツール

大量の子供の写真を、AIで自動評価。
最高の瞬間を、もっと手軽に見つけよう。



面倒な写真整理は、すべておまかせ。



品質評価 & 7段階分類

AIが写真のブレや笑顔を自動でチェックし、スコア付けします。



時系列で自動整理

ファイル名に撮影日時を付け加えるので、写真が自然と日付順に並びます。



完全ローカル処理で安心

あなたの大切な写真が外部のサーバーに送信されることはありません。



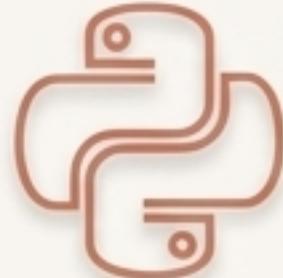
シンプルなGUI操作

専門知識は不要。ダブルクリックで起動し、画面の指示に従うだけです。

始める前に、必要なものを確認しましょう。



OS: Mac (macOS)



Python: Version 3.8以上

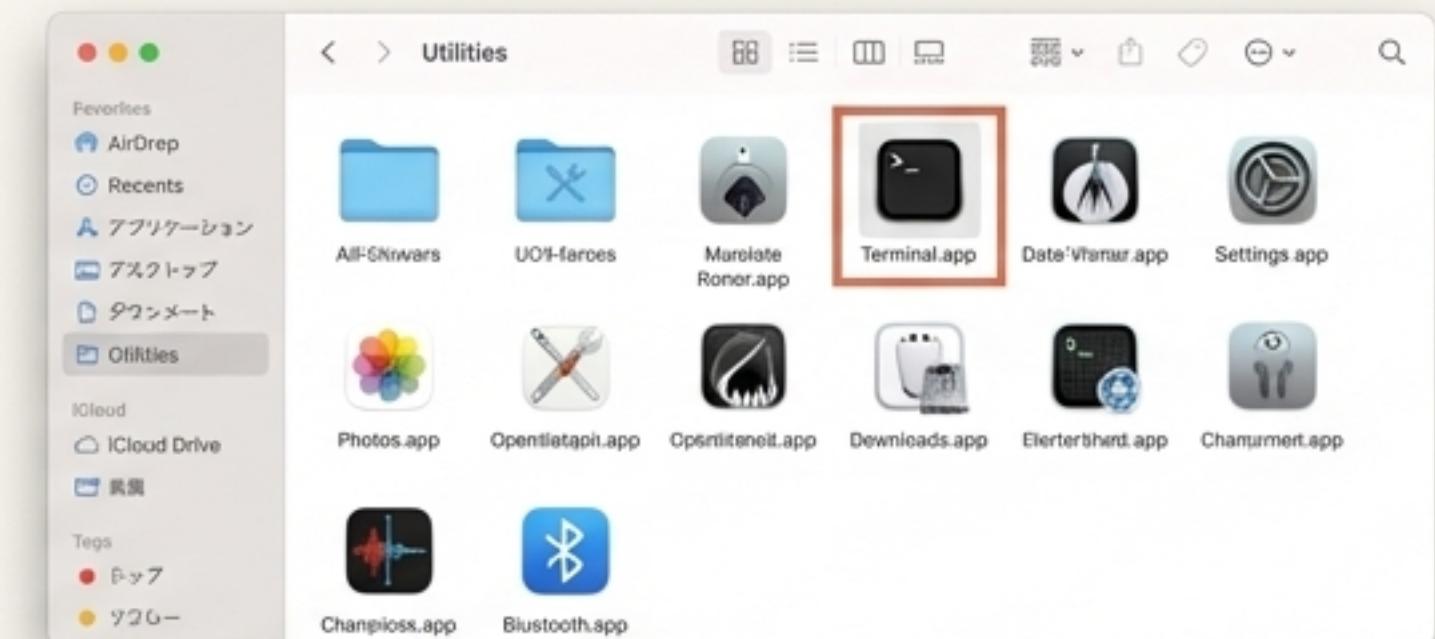


Homebrew: ツールのインストールに推奨されます。

最初の1回だけ：ツールの準備をします (1/3)

ステップ1: ターミナルを開く

「アプリケーション」フォルダ内の「ユーティリティ」にある「ターミナル.app」を起動します。
Spotlight検索も便利です。

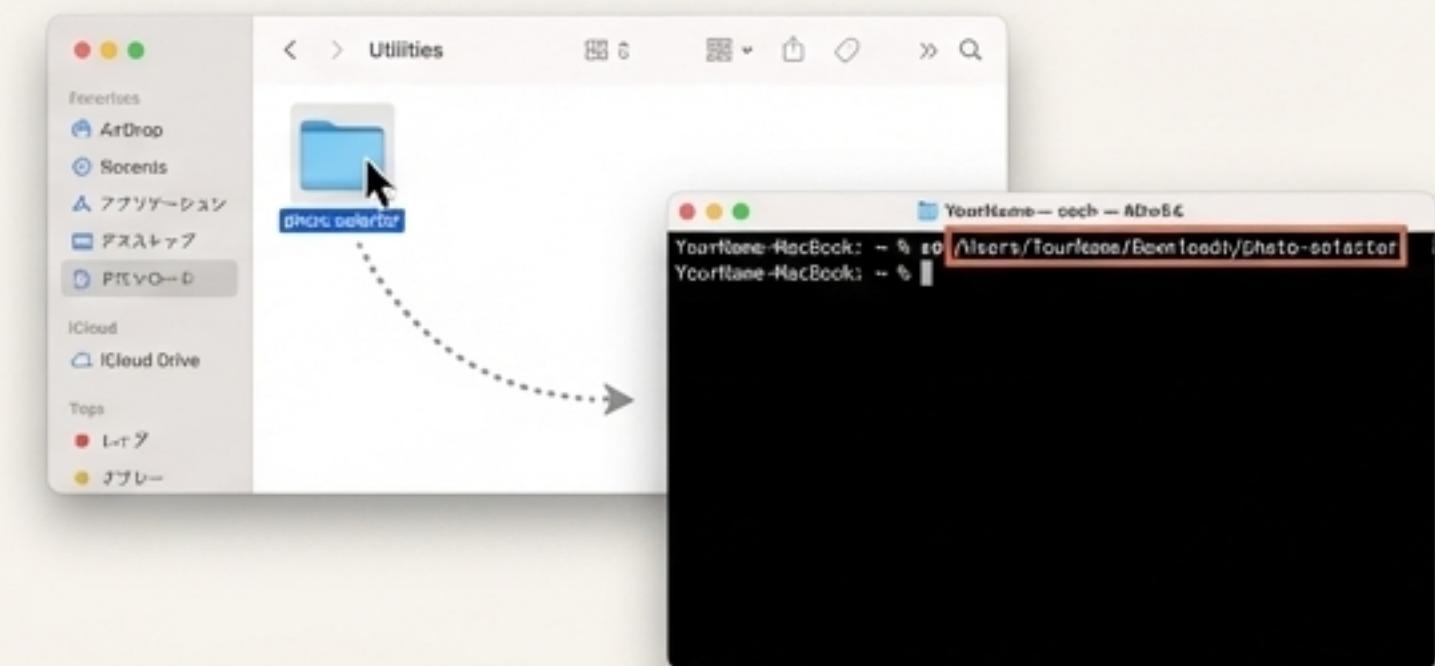


ステップ2: フォルダに移動する

ターミナル画面で、まず `cd` と入力します (c, d, の後に半角スペース)。

その後、ダウンロードした「photo-selector」フォルダをターミナル画面上にドラッグ&ドロップすると、パスが自動で入力され簡単です。

入力例: `cd "/Users/YourName/Downloads/photo-selector"`



ツール専用の「作業部屋」を作ります (2/3)

ステップ3: 仮想環境を作成

ターミナルで以下のコマンドを実行します。これにより、他のアプリに影響を与えない、このツールだけの独立したPython環境が作られます。

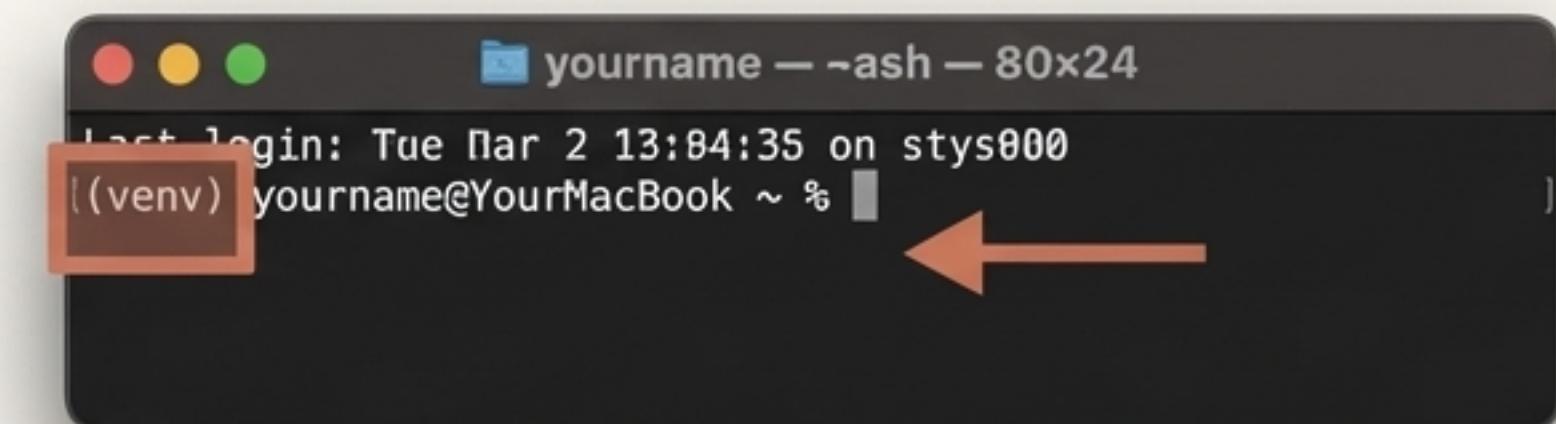
```
/opt/homebrew/bin/python3.12 -m venv venv
```

ステップ4: 仮想環境を有効化

続いて、今作った「作業部屋」に入るためのコマンドを実行します。

```
source venv/bin/activate
```

成功のサイン: コマンドを実行後、行の先頭に (venv) という表示が出れば成功です。



最後に、ツールに必要な部品を揃えます (3/3)

ステップ5: 必要なライブラリをインストール

ツールが動作するために必要な部品（ライブラリ）を、以下の2つのコマンドで自動的にインストールします。順番に実行してください。

```
pip install -r requirements.txt
```

```
pip install "numpy<2"
```



これで準備完了です！

この初回セットアップは一度きりです。次回からは「Photo Selector.command」ファイルをダブルクリックするだけで、すぐにツールを起動できます。

ダブルクリックで起動、3ステップで写真整理

1. 入力フォルダを選択
写真が保存されている
フォルダを選びます。

2. 出力フォルダを選択
分類結果を保存する
新しい場所を選びます。



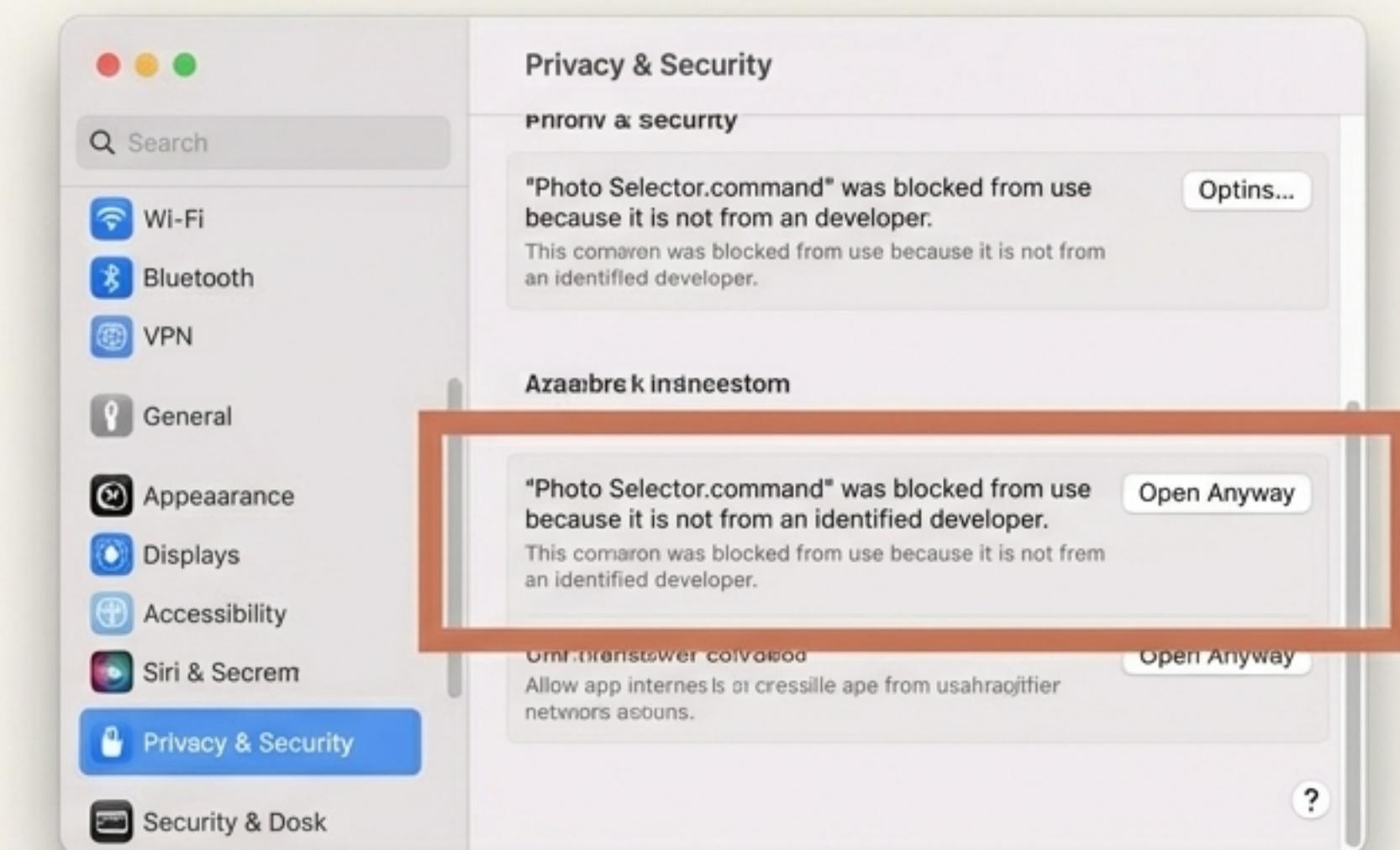
3. 「実行」ボタンをクリック
あとはAIが自動で処理する
のを待つだけです。

初回起動で「開発元を確認できない」と表示されたら？

これはmacOSの標準的なセキュリティ機能によるものです。以下の手順で一度だけ許可をえてください。

手順:

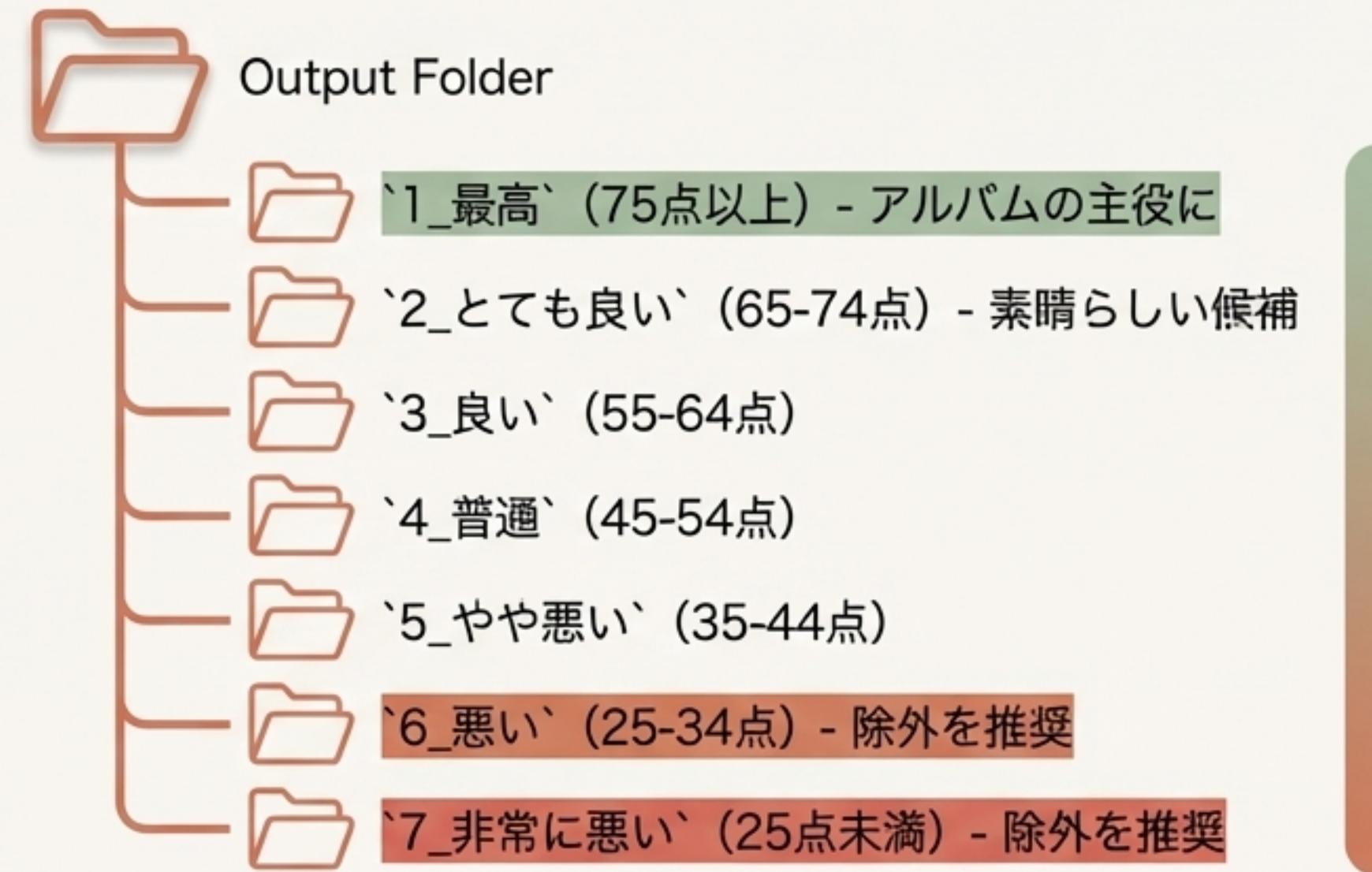
1. 「システム設定」を開き、「プライバシーとセキュリティ」を選択します。
2. 画面を下にスクロールすると、「"Photo Selector.command"はブロックされました」というメッセージが表示されています。
3. その横にある「このまま聞く」ボタンをクリックして許可します。



評価スコアに応じて、7つのフォルダに自動分類

処理が完了すると、出力フォルダの中に評価の高い順で7つのフォルダが作成されます。

アルバム作りの目安としてご活用ください。



ファイル名も時系列に！

ファイル名の先頭には撮影日時が付加され、自動で時系列に並びます。

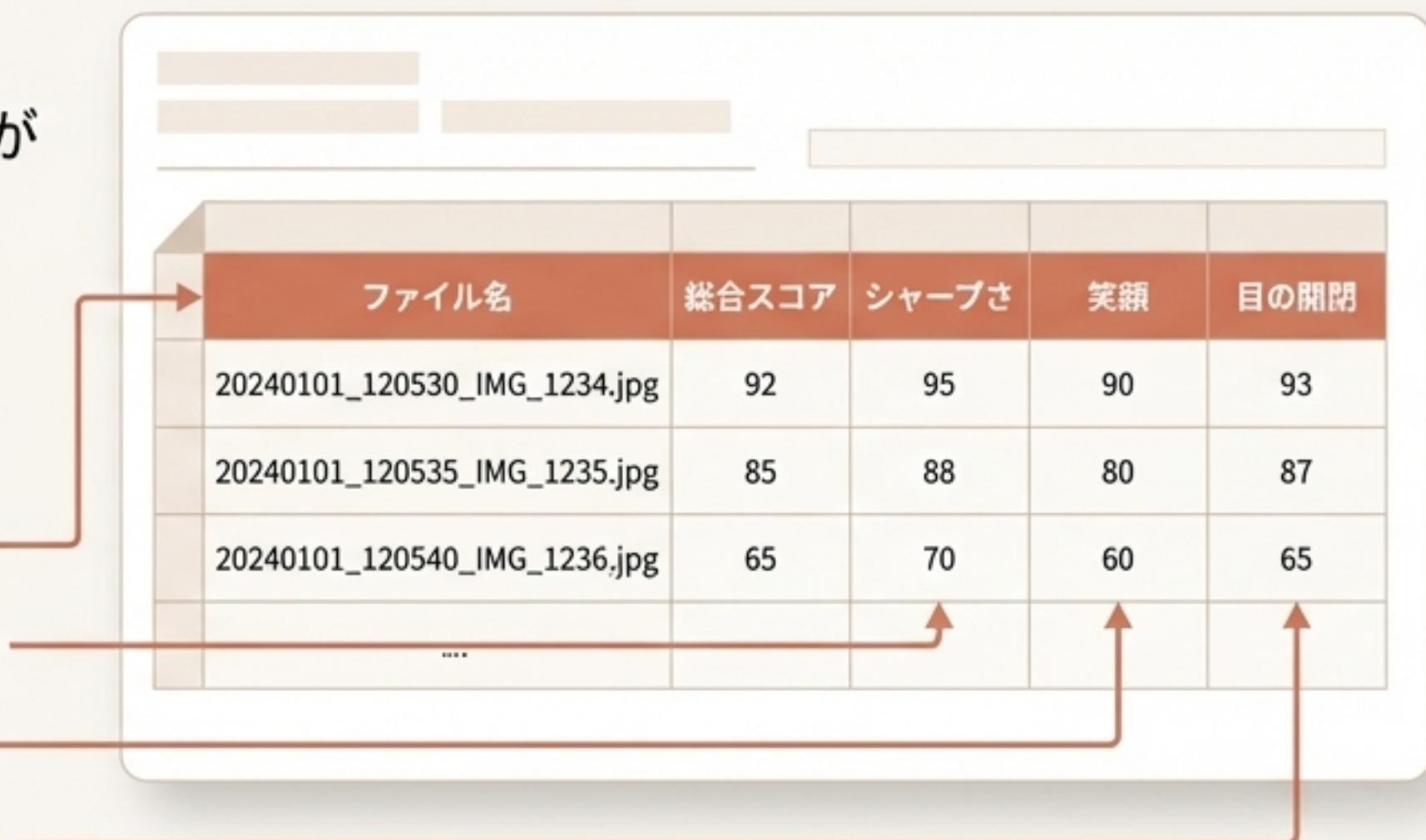
例: `20240101_120530_IMG_1234.jpg`

`results.csv`で、全写真の評価詳細を確認

出力フォルダに同時に作成される`results.csv`ファイルには、すべての写真の詳しい評価スコアが記録されています。ExcelやGoogleスプレッドシートで開くことができます。

主要な評価項目：

- ・**総合スコア**：100点満点での最終的な評価点です。
- ・**シャープさ**：ブレやピンボケがないかの評価です。
- ・**笑顔**：表情が笑顔かどうかの評価です。
- ・**目の開閉**：目をちゃんと開けているかの評価です。



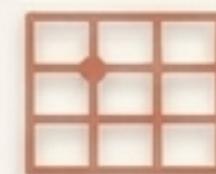
A screenshot of a CSV file titled "results.csv" showing photo evaluation details. The file has a header row with columns: ファイル名 (File Name), 総合スコア (Overall Score), シャープさ (Sharpness), 笑顔 (Smile), and 目の開閉 (Eye Open/Closed). There are three data rows below the header. Red arrows point from the list of evaluation items on the left to the corresponding columns in the CSV table.

ファイル名	総合スコア	シャープさ	笑顔	目の開閉
20240101_120530_IMG_1234.jpg	92	95	90	93
20240101_120535_IMG_1235.jpg	85	88	80	87
20240101_120540_IMG_1236.jpg	65	70	60	65
...				

AIは、写真のどこを見ているの？

評価の基準は、写真に「顔が写っているか」どうかで自動的に切り替わります。

顔が写っている写真



構図 (30点)



笑顔 (25点)



シャープさ (20点)



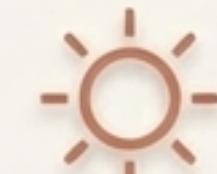
目の開閉 (15点)

…他

顔がない写真（風景など）



シャープさ (40点)



露出 (35点)



コントラスト (25点)

上級者向け：コマンドラインでの使い方

GUIを使わず、ターミナルから直接コマンドを実行することで、より柔軟な操作が可能です。

基本コマンド

まず、仮想環境を有効化します: `source venv/bin/activate`

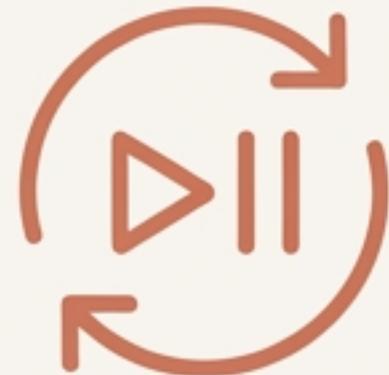
その後、以下の形式で実行します:

```
python photo_selector.py --input [入力フォルダパス] --output [出力フォルダパス]
```

具体例

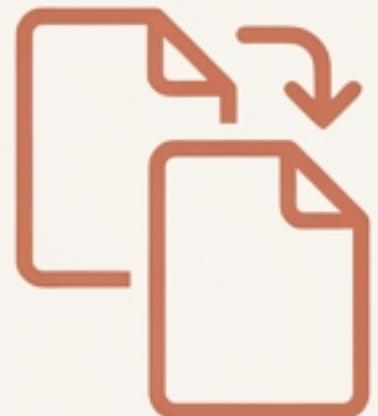
```
python photo_selector.py --input ~/Desktop/写真2024 --output ~/Desktop/写真2024_分類済み
```

便利な機能 & よくある質問



中断と再開

処理を途中で止めてしまっても大丈夫。次回、同じ出力フォルダを指定すれば、自動的に前回の続きから処理を再開します。



Q: 元の写真は消えますか？

A: いいえ、元の写真は一切変更されず、そのまま残ります。ツールは写真を安全な場所に「コピー」して処理を行います。



Q: 処理時間はどのくらい？

A: 写真1000枚あたり、約10分～15分が目安です。

エラーが出たときは

問題 1: NumPyに関するエラーが表示される

解決策: ターミナルでセットアップ時と同様に仮想環境を有効化 (source venv/bin/activate) した後、pip install "numpy<2" を再度実行してください。

問題 2: "No such file or directory" と表示される

解決策: 指定した入力または出力フォルダのパスが間違っています。フォルダをターミナルやGUIの選択画面に直接ドラッグ&ドロップする方法が最も確実です。



素敵なアルバム作りを、お楽しみください。

Photo Selectorが、あなたの思い出整理の助けになることを願っています。